

修正後線表(案)

資料 6

項目	事業主体	主な内容	H20	H21	H22	H23	指標及び目標		仕分
							指標	目標値(H23)	
<p>1</p> <p>まとまりのあるナスの産地づくり</p> <p>(室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、野野町、安田町、北川村、芸西村)</p>	<p>追加</p>	<p>◆土佐あき地域園芸戦略推進会議における管内産地の課題解決</p> <p>◆部会及び研究会など生産組織の活動目標や課題の明確化</p>	<p>実行チームの設置</p>	<p>実行チームを中心とした取組</p>	<p>実行チームを中心とした自主的活動</p>	<p>系統出荷率 (H19 52%)</p> <p>エコシステム栽培農家数 (H19 429戸)</p> <p>土佐産の作付面積 (H19 11ha)</p>	<p>62%</p> <p>600戸</p>	<p>A</p>	
			<p>ナス類及び系統栽培農家</p>						
<p>2</p> <p>ユズを中心とした中山間地域の農業振興</p> <p>(室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村)</p>	<p>市町村</p> <p>JA土佐あき</p> <p>JA馬路村</p> <p>県(安芸農業振興センター)</p>	<p>◆新植、改植の推進</p> <p>◆将来に渡ってユズ園を管理する仕組みづくり</p> <p>◆鳥獣害対策への支援</p> <p>◆生産履歴記帳の推進や搾汁施設の改良</p> <p>◆「北川村ゆず振興ビジョン」の具体化に向けた推進体制の整備</p>	<p>新植、改植の推進</p> <p>優良母樹の選定と確保に向けた仕組みづくり、新植及び改植の推進</p>	<p>新植及び改植の推進</p>	<p>将来に渡ってユズ園を管理する仕組みづくり</p> <p>経営の見直し支援、農作業受委託の仕組みづくり</p>	<p>集落営農組織及び農作業受委託組織の育成</p> <p>鳥獣害対策への支援</p> <p>シカ防除柵とシカ肉処理加工施設(北川村)の設置</p> <p>生産履歴記帳の推進や搾汁施設の改良</p> <p>搾汁施設の改良(北川村)</p> <p>「北川村ゆず振興ビジョン」の具体化に向けた推進体制の整備</p> <p>具現化に向けた地域住民の合意形成と実践活動</p>	<p>集落営農組織及び農作業受委託組織の育成 (H19 ー)</p> <p>生産履歴記帳率 (H20 90.9%)</p>	<p>3組織</p> <p>100%</p>	<p>A</p>
			<p>ゆず茶製造ラインの整備</p> <p>ゆず皮供給体制の整備・ゆず茶製造施設の整備</p> <p>JA馬路村</p>						

項目	事業主体	主な内容	H20	H21	H22	H23	指標及び目標		仕分
							指標	目標値(H23)	
3 環境保全型農業の推進 《室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、芸西村》	・JA土佐あき ・環境保全型農業実践農家グループ ・県(安芸農業振興センター)	◆環境保全型農業推進のためのビジョン作成及び共有 ◆安全・安心の取組推進 ◆IPM技術の確立及び普及	環境保全型農業推進のためのビジョン作成及び共有 土佐あき地域園芸戦略推進会議を中心とした環境保全型農業の推進のためのビジョンの作成及び共有 安全・安心の取組推進 IPM技術の確立及び普及				100%に達したため 天敵導入農家割合 (H19ナス 21.0%) (H19ピーマン 63.5%) エコシステム栽培農家数 (H19 537戸) ※ナス・ピーマン等 こうち環境・安全・安心点検シート実施率 (H19 3%)	ナス 70% ピーマン 95% 690戸 00%	A
天敵導入農家数の増加、エコシステム栽培の推進、こうち環境・安全・安心点検シートの実施 IPM技術の確立及び普及 土着天敵を用いたIPM技術による防除対策の確立(実証圃) 土着天敵を用いたIPM技術による防除対策の確立と普及(実証圃、現地検討会) 土着天敵を用いたIPM技術による防除対策の普及(現地検討会)							ナス類、ピーマン類及び系統栽培農家		
4 西山きんとき芋販売促進事業 《室戸市》	・JA土佐あき(吉良川支所芋部会)	◆認証・認定取得 ◆加工品開発 ◆販売促進	認証・認定取得 生産農家のエコファーマー認定、地域ブランド商標登録 販売促進 チラシ作成、試食宣伝	加工品開発 道の駅「キラメッセ室戸」と芋ケンピ等の加工品共同開発 芋貯蔵施設の整備			エコファーマー認定農家数 (H19 0戸) 加工品アイテム数 (H20 -) 系統出荷率 (H19 30~40%)	25戸 3品目 60%	A
5 土佐ジローの生産拡大と地域の活性化 《安芸市》	・㈱はたやま夢楽	◆施設整備等(肉用、採卵用鶏舎等) ◆加工品への取組		施設整備等 肉用鶏舎・育雛鶏舎等の増築、作業・資材庫、飼料投与機の整備等 採卵鶏舎・育雛舎の増築、加工向け保管施設・産卵舎の整備等 加工品への取組 加工品への取組(燻製)			肉出荷羽数 (H19 12,290羽) 卵出荷個数 (H19 11万個) 加工品(燻製)生産数量 (H19 140羽)	14,600羽 26万個 5,400羽	A
名称変更									

項目	事業主体	主な内容	H20	H21	H22	H23	指標及び目標		仕分
							指標	目標値(H23)	
6 特産品「イチジク」による地域の活性化 (奈半利町)	・JA土佐あき(奈半利支所) ・奈半利町	◆イチジクの町「なはり」の定着 ◆加工品の開発 ◆地元での利用促進	イチジクの町「なはり」の定着 関係者による「イチジクくらぶ(仮)」の開催	苗木の配布、「なはりまるごとフェア(仮)」の開催					B
				加工品の開発 加工品の開発		町外への販売、PR推進			
						地元での利用促進 物産館等での販売、町内レストラン・ホテルでの食材活用			
7 森林情報のデータベース化 (安芸地域全域)	・各森林組合	◆森林情報のデータベース化、国土調査データや施業履歴を元に森林簿の更新 ◆各森林組合が更新したデータの県の森林簿への反映		森林情報のデータベース化、国土調査データや施業履歴を元に森林簿の更新 各森林組合が更新したデータの県の森林簿への反映					B
				合併森林組合へのプロモーション、専用PC・ソフトの導入、データの更新	専用PC・ソフトの導入、森林組合が整備したデータを県の森林簿に反映していくための仕組み・ルールづくり、現況調査・境界管理	他の森林組合へのプロモーション、現況調査・境界管理			
8 林業再生事業 (安芸地域全域)	・各森林組合	◆効率的な施業の実施 ◆新規就業者の確保・育成 ◆全木集材システムの構築		効率的な施業の実施 新規就業者の確保・育成 全木集材システムの構築			林業素材生産量 (H18 92,000m ³) 間伐面積 (H19 1,590ha)	103,000m ³ 2,000ha	A
				森の工場の推進、高性能林業機械の導入、作業道の開設等基盤整備、低コスト生産技術の構築、施業プランナーの育成と提案型施業の確立、緑の雇用事業の活用、就労環境の改善、列伐間伐・小面積皆伐					

項目	事業主体	主な内容	H20	H21	H22	H23	指標及び目標		仕分
							指標	目標値(H23)	
9 土佐備長炭 生産・出荷・ 販売体制の 強化事業 (室戸市、東洋町)	・高知県特用林産協会 ・ 室戸市 木炭振興会 ・ 土佐備長炭 生産組合	◆土佐備長炭のPR活動 ◆共同出荷、原木共同購入の検討 ◆生産環境の整備 ◆生産施設等の整備		土佐備長炭のPR活動 使用店への看板の設置、大都市圏への売込み パンフレット、作成 共同出荷、原木共同購入の検討 2市町の生産者での共同体制の検討 生産環境の整備 原木生産のための作業道の開設 生産施設等の整備 炭窯の新設 4基 炭窯の新設 6基 製品保管倉庫 1棟			上土佐備長炭の生産量 (H18 329t)	600t	A
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">名称変更</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">前回の会議で承認済み</div>							
10 木質バイオマス活用事 業 (安芸市、芸西村)	・芸西村 ・安芸市 ・森林組合	◆林地残材の搬出システムの構築		林地残材の搬出システムの構築 林地残材の搬出システムの構築、木質バイオマスの需要の把握					C
11 林業加工品の販売促 進 (馬路村)	・エコアス馬路村 ・馬路村森林組合 ・馬路村材加工協同組 合	◆光回線の導入による作業の効率化 ◆新商品の開発 ◆小売店顧客の拡大	光回線の導入による作 業の効率化 メールでのデータ送受 信、インターネットでの 情報取得のスピード化 小売店顧客の拡大 国際見本市への出展	新商品の開発 定期的な新商品の開 発 販路の開拓(PR活動等)			木材木製品の出荷額 (H19 236百万円)	264百万円	A

項目	事業主体	主な内容	H20	H21	H22	H23	指標及び目標		仕分
							指標	目標値(H23)	
12 キンメダイのブランド化に向けた取組 (室戸市、奈半利町)	・未定(室戸水産業改良普及協議会で調整中) ・芸東水産業改良普及協議会 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 実施主体の決定 </div>	◆推進体制の確立 ◆県内市場の拡大 ◆県外市場の開拓 ◆地域ブランドの確立	推進体制の確立 取組主体・協力体制の確立	県内市場の拡大 県内市場の情報収集と実態把握 室戸産キンメダイのPRとキンメダイの消費拡大 県外市場の開拓 県外市場の情報収集と実態把握 室戸産キンメダイのPRとキンメダイの消費拡大					B
13 スジアオノリのブランド化の取組 (室戸市)	・高知県漁協(高岡支所) ・スジアオノリ養殖支援チーム	◆アオノリ小袋販売の本格化に伴う販路開拓 ◆アオノリ粉を利用した商品開発 ◆知名度アップのためのPR活動	アオノリ小袋販売の本格化に伴う販路開拓 県内の販路拡大 県アンテナショップへの出品 アオノリ粉を利用した商品開発 食品会社・加工業者などとのタイアップによる商品開発、地元女性グループに加工を委託するなどの方法による独自の商品開発 知名度アップのためのPR活動 HPの作成 販促グッズの制作 観光産業との連携	県内の販路拡大 県外の販路開拓 県アンテナショップへの出品 アオノリ粉を利用した商品開発 食品会社・加工業者などとのタイアップによる商品開発、地元女性グループに加工を委託するなどの方法による独自の商品開発 知名度アップのためのPR活動 HPの作成 販促グッズの制作 観光産業との連携			スジアオノリ販売額(H19: 5百万円)	15百万円	A

項目	事業主体	主な内容	H20	H21	H22	H23	指標及び目標		仕分
							指標	目標値(H23)	
14 低価格な定置網漁獲物の販売戦略 (室戸市)	・未定(漁協を想定) ・漁協 ・水産加工業者	◆検討組織の立上げ(加工業者と漁業関係者主体の検討組織) ◆流通実態調査の実施 ◆商品開発(一次加工や底先加工品の試作)、加工品製造販売、販路開拓 ◆加工施設の整備 ◆アドバイザーの招聘による商品開発と販売戦略の検討		◆検討組織の立上げ ◆加工業者と漁業関係者主体の検討組織 ◆主に加工と組み合わせた販売戦略の検討 ◆流通実態調査の実施 ◆多獲性低価格魚の流通実態調査の実施 ◆商品開発、販売戦略の検討 ◆アドバイザーの招聘による商品開発と販売戦略の検討、商品開発(一次加工や底先加工品の開発)、加工品製造販売、販路開拓 ◆加工業者・漁協女性グループとの連携の模索 ◆加工施設の整備					B
15 新たな漁業の導入とシラス魚価等の向上 (安芸市)	・安芸市青年漁業者グループなどの漁業生産事業者 ・漁業生産事業者(青年漁業者研究グループ、安芸地区女性起業家グループほか) ・安芸地区活性化協議会(仮称) ・漁協 ・水産加工業者	◆冷凍ドロマ加工などの付加価値向上の取組の展開 ◆技術指導 ◆試験操業、漁業資源としての見直し ◆高収益流通販売の先進地視察 ◆漁場特性や操業技術の習熟 ◆高収益流通販売への実証事業 ◆アカムツ深海縄漁業の確立と適切な流通販売の確立 ◆シラス魚価向上に向けた検討・活動の総合的な組織と仕組みづくり ◆シラス魚価の向上のための生産性の向上	時期的に早いシラス漁期における冷凍ドロマ加工などの付加価値向上の取組の展開 シラス加工に関する情報収集・視察研修 冷凍ドロマ等流通加工販売実証事業 シラス魚価向上に向けた検討・活動の総合的な組織と仕組みづくり 女性起業家グループ「安芸おじゃ娘」の加工販売実証 技術指導 試験操業、漁業資源としての見直し 高収益流通販売の先進地視察 漁場特性や操業技術の習熟 高収益流通販売への実証事業 深海縄漁業に関する情報収集及び協議、操業技術、漁場特性習熟操業、高収益流通販売実証事業	シラス加工やその煮汁販売等への取組 アカムツ深海縄漁業の確立と適切な流通販売の確立 深海縄操業形態の確立及びその他の新たな漁業の導入、流通販売事業者の確立整備、シラス機給船曳網漁業を柱とした複合漁業操業形態の確立と漁業収益の増大・安定化、その他の漁業(龍漁業)への取組 アドバイザー派遣による青年漁業者グループの深海縄習熟促進					B

前回の会議で承認済み

前回の会議で承認済み

実施主体の追加

今回の追加

今回の追加

漁業者・同団体・企業との連携の模索と実施

項目	事業主体	主要内容	H20	H21	H22	H23	指標及び目標		仕分
							指標	目標値(H23)	
16 「加領郷」ブランドによる地域の活性化 (奈半利町)	・高知県漁協(加領郷支所) ・奈半利町	◆検討組織の立上げ ◆加領郷ブランドの確立 ◆直販所機能の拡充	検討組織の立上げ 関係者による打合せ	「加領郷活性化検討会」(仮称)の設立 加領郷ブランドの確立 特産品の開発 加領郷ブランドの選定と定義付け 販売グッズの作成 加領郷ブランドのPR					B CからBへ
17 河川の周年利用による地域経済の活性化 (奈半利町、北川村)	・奈半利川淡水漁協 ・県(漁業振興課)	◆内水面漁業調整規則の改正に必要な調査の実施 ◆水産庁との協議による内水面漁業調整規則の変更		規則の改正に必要な調査の実施 当該水域においてアマゴが産卵していないことの確認、標識放流による成長と釣果の確認 水産庁との協議による規則の変更 協議及び規則変更 事業化					B
18 海洋深層水の利用拡大 (室戸市)	・室戸市 ・県(工業振興課、海洋深層水研究所)	◆販路拡大のための高度清浄化 ◆販路、供給地域の拡大 ◆企業、研究機関等との連携等	販路拡大のための高度清浄化 これからの取組に向けた関係者での協議	高度清浄化に向けた検討 供給域拡大のための意思統一、深層水商品の販路拡大 企業、研究機関等との連携等 これからの取組に向けた関係者での協議	高度清浄化に係る整備 供給域拡大のための制度の変更、深層水商品の販路拡大 深層水商品の販路拡大 企業・研究機関等との共同研究の実施、企業誘致の推進		深層水関連商品売上額 (H19 148億円)	155億円	A

項目	事業主体	主な内容	H20	H21	H22	H23	指標及び目標		仕分
							指標	目標値(H23)	
19 新たな地域資源として リュウゼツランの活用 の検討 【室戸市】	・室戸市	◆栽培方法の確立 ◆商品研究開発		栽培方法の確立 栽培調査、試験栽培場 所の造成、試験栽培	試験栽培 商品研究開発 大学等との連携による研究開発				C
20 海の駅「東洋町」の活 性化 【東洋町】	・東洋町 ・関東洋リ・ホルト	◆施設の整備等 ◆地域の情報発信	施設の整備等 販店店舗での試験営業、 本格的な施設整備	軽食部門の開設、地場 産品を活用した食品加 工 地域の情報発信 インターネットなどを活用した地域の情報発信					B
21 道の駅「田野駅」の 機能強化(特産品開発 及び情報発信) 【田野町】	・田野町 ・田野駅屋	◆地場産品加工施設を活用した特産 品の開発、販売 ◆情報発信機能の強化 ◆人材育成	地場産品加工施設を活用した特産品の開発、販売 加工関連団体の意識 高揚に向けた取組、ア ンケート等によるニー ズの把握、加工施設 の指定管理に向けた 検討	特産品開発に向けた 勉強会と商品試作(ア ドバイザーの活用)、 関係法令の勉強会 情報発信機能の強化 情報コーナー拡張(施 設整備)	試作商品の販売 観光・宿泊施設との連携による情報の共有化、ガ イドマップやHPでの情報発信による観光施設への 誘導 人材育成 加工施設指定管理者の決定と人材育成(スキルアップ研修、先進地視察研修 等)				B

項目	事業主体	主な内容	H20	H21	H22	H23	指標及び目標		仕分
							指標	目標値(H23)	
22 体験型観光の旅行商品化と販売・受入体制の整備 (安芸地域全域)	・安芸広域市町村圏事務組合 ・民間団体	◆テーマ別(自然・体験・歴史・文化・道路等)、ターゲット別(年代・グループ・規模等)の旅行商品化 ◆観光情報、広報ツールの充実 ◆ランドオペレーター機能の体制整備	テーマ別、ターゲット別の旅行商品化 整備手法の検討	観光コンベンション協会の協力を得て旅行商品化 観光情報の一元的受発信のシステム化と広報ツールの充実	観光コンベンション協会、県外事務所等と連携した営業活動 ランドオペレーター人材の雇用・研修育成	ランドオペレーター機能の確立	指標 目標値(H23)	BからAへ 専任職員の確保と人材育成 安芸広域等での合意形成にめど	
23 地質資源を活かした交流人口の増加(世界ジオパーク認証に向けた取組) (室戸市)	・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市 ・室戸市観光協会	◆受入体制の整備(ソフト) ◆受入体制の整備(ハード)	受入体制の整備(ソフト) 推進体制づくり、市民への勉強会実施、調査事業	地域の盛り上がり、運営体制の強化、国内外へのPR強化 ガイド用教材作成、ガイド育成、ジオパークを活用したイベントの開催 ガイドブック・HP・DVDの作成・広報用ディスプレイ設置 案内システムの構築及び端末整備 案内看板設置、遊歩道の整備及び補修 ミュージアムの整備展示内容の充実	世界ジオパーク認証 ジオパーク交流人口(H9-)	10,000人	A	世界再挑戦へ向けての取組の変更	

項目	事業主体	主な内容	H20	H21	H22	H23	指標及び目標		仕分
							指標	目標値(H23)	
24 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大 (室戸市)	・高知県漁協(調整中) ・NPO室戸ドルフィンプロジェクト	◆漁業者の理解を得る取組 ◆関係機関との調整 ◆漁協が主体となったダイビング事業運営 ◆PR活動 ◆ドルフィンセンターの機能充実					ダイビング入込み客数 (H20 2,000人) 室戸ドルフィンセンター 来場者数 (H19 25,000人)	5,000人 30,000人	A
25 シレストむろとを核とした健康観光産業 (室戸市)	・次世代の湯治場検討協議会	◆海洋深層水健康増進プログラムの策定 ◆室戸での滞在を楽しむ体験メニューと体制の構築 ◆PR、情報発信手法の構築 ◆旅行商品化					次世代の湯治場体験者数 (H20 420泊)	4,000泊	A

前回の会議で承認済み

項目	事業主体	主な内容	H20	H21	H22	H23	指標及び目標		仕分
							指標	目標値(H23)	
26 龍馬伝に関連した特産品開発や周遊ルートの確立等 (安芸市)	・安芸市 ・生産者 ・加工業者 ・作家等	◆地域資源(一次産品、酒、陶芸等)を活用した特産品等の開発 ◆周遊ルートの確立	地域資源を活用した特産品等の開発 周遊ルートの確立 「はばたけ弥太郎・龍馬伝」推進委員会を設立し今後の対応策を検討	商品試作、販路開拓、施設(サイン等)の整備	商品化、販売	ドラマ放送期間(H22.1月~12)			B
27 スポーツキャンプのまちづくり (安芸市)	・安芸市	◆施設(球場等)の改修 ◆社会人や大学等に対するプロモーション活動	施設(球場等)の改修 ドーム屋根全面改修、メイングラウンド観客席改修、サブグラウンドへの本部席・ベンチ新設、ラバーフェンス改修	雨天練習場改修	観客席の増設及び収納庫の新設、正面入口の拡張	社会人や大学等に対するプロモーション活動 社会人や大学等に対するプロモーション活動			C
28 ダイビングの受け皿づくりによる交流人口の拡大 (東洋町)	・未定(漁協を想定)	◆漁業者の理解を得る取組 ◆関係機関との調整 ◆PR活動等	漁業者の理解を得る取組 漁業者への説明、講習会・先進事例紹介、関係者によるダイビングルールづくり	PR活動等 PR活動	PR活動、施設整備				C
29 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大 (奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)	・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会	◆重要文化財登録へ向けた活動 ◆遺産を活用した地域振興への取組	重要文化財登録へ向けた活動 資料の収集、地域住民への理解の促進、シンポジウム等の開催	遺産を活用した交流事業の計画づくり、地域マネジメント組織づくり、観光事業者等とのネットワークづくり	事務局体制の自立、サポーター組織の確立、散策ガイドの養成、モニターツアー等の実施、シンポジウム等の開催	副読本や間伐材を使ったグッズの作成、現地案内看板の設置、ピジターセンター等の設置	森林鉄道遺産散策エコツアーの企画・試行、自立的事業展開戦略の確立		A

A

BからAへ

項目	事業主体	主な内容	H20	H21	H22	H23	指標及び目標		仕分
							指標	目標値(H23)	
30 『ふるさと海岸』を中心とする海洋資源を活用した観光事業 (奈半利町)	奈半利町漁協 なはり観光文化協会 奈半利町	◆ 検討組織の立上げ ◆ 体験観光型拠点施設等の整備 ◆ 東部全体の旅行商品化の動きとの連携 ◆ PR活動	検討組織の立上げ 住民主体による検討会の設置、町内観光コースの検討(模擬ツアーの実施)	検討組織の立上げ 住民主体による検討会の設置、町内における「総合的な体験プログラム」の検討・構築 体験観光型拠点施設等の整備 シユノーケリング等の拠点施設整備	東部全体の旅行商品化の動きとの連携 他の体験メニュー等と組み合わせたプログラムの開発 PR活動 県内外の観光関係者へのPR				B
『』を追加									
31 体験型観光への取組 ～大野台地は、えいとこら!!～ (田野町)	大野倶楽部	◆ 大野台地の魅力再発見と体験メニュープログラムづくり ◆ 情報発信の強化	大野台地の魅力再発見と体験メニュープログラムづくり 食品衛生関係法令勉強会、食品営業許可取得、保険加入	アドバイザー等の活用によるメニューづくり、安芸広域での旅行商品メニューづくりとの連携	体験メニューの試行 情報発信の強化 体験内容教材の作成(パネル・ビデオ・冊子)、HP・チラシ等による情報発信	体験メニューの本格実施 解説・誘導案内看板等の設置			B
32 安田川の清流資源を活かした交流人口の拡大 (安田町、馬路村)	安田町 馬路村 流域等で構成する民間団体(未設立)等	◆ 地域住民が安田川の価値を理解し共有するための仕組みづくり ◆ 流域での行動計画の策定 ◆ 行動計画に沿った実践活動	流域での行動計画の策定 計画策定のための組織の検討、既存の計画及びこれまでの取組の検証	地域住民が安田川の価値を理解し共有するための仕組みづくり シンポジウム・川談義・フェスタの開催 行動計画の策定、安田川の現状調査、アユの産卵場の確保等・放流等、家庭排水環境調査、近自然工法の研究・実施	行動計画に沿った実践活動 行動計画の実施(アユ資源の増強、近自然工法、家庭排水対策、体験学習メニューの提供、山の再生等)	行動計画の実施(アユ資源の増強、近自然工法、家庭排水対策、体験学習メニューの提供、山の再生等)及び検証			B

実施時期の変更

他事業との連携

項目	事業主体	主な内容	H20	H21	H22	H23	指標及び目標		仕分
							指標	目標値(H23)	
33 古民家と地場産品販売施設等を活かした交流人口の拡大 《安田町》	・安田町	◆地域コミュニティや交流人口拡大のための拠点整備及び活用 ◆ボランティアガイドの育成 ◆地場産品販売施設等との連携の仕組みづくり ◆地域の魅力を活かした特産品の開発と販売	地域コミュニティや交流人口拡大のための拠点整備及び活用 旧柏原邸の歴史的調査及び修復実施設計、旧柏原邸の活用策の検討、お運路さん休憩所の試行 ボランティアガイドの育成 町並みガイド育成	旧柏原邸の修復 町並みガイド育成、体制づくり	旧柏原邸の活用(町並みガイド、お運路さん休憩所等)			B	
			地場産品販売施設等との連携の仕組みづくり 地場産品販売施設の整備	地場産品販売施設等との連携の仕組みづくり	地場産品販売施設等との連携による情報発信 地域コーディネーターの育成				
			地域の魅力を活かした特産品の開発と販売 完全天日塩製造施設の整備	特産品の開発、人材育成	特産品の開発及び販売				
34 龍馬伝を活かした観光振興 《北川村》	・北川村 ・龍馬伝・慎太郎推進協議会	◆中岡慎太郎館での企画展の開催等 ◆物産販売(おもてなし) ◆散策ルートの設定 ◆中岡慎太郎館のリニューアル	中岡慎太郎館での企画展の開催等 物産販売(おもてなし) 散策ルートの設定 推進のための体制づくり、観光業者への売込み	企画展の開催、北川村ゆずサンサングループと連携したおもてなし活動(田舎寿司などの郷土料理)、中岡慎太郎館周辺での散策コースの設定 中岡慎太郎館のリニューアル				B	
35 地場産品直販所「かっぱ市」の機能強化 《芸西村》	・岡かっぱ市 ・芸西村 ・芸西商工会	◆地場産品直販所「かっぱ市」の花弁コーナーにおいて、その種類と出品量の増加により独自性を出し、地域経済の活性化を図る。 ◆村内で生産される農産物等(ピーマン・黒砂糖等)を使用した新たな商品を企画開発し、村内産品の付加価値を高める。			事業内容の検討・調整	事業着手・完成		C	

前回の会議で承認済

22年度追加